

## 三和区宮崎新田市有地内産業廃棄物撤去について（第9報・最終版）

三和区宮崎新田市有地内の産業廃棄物撤去につきましては、昨年8月28日に現場作業に着手し、2か年度にわたって廃棄物の掘削・選別・搬出、及び地山への盛土・成形などの各作業を進めてまいりましたが、今年5日、搬出道路として使用してきた市道宮崎新田線の原状復旧作業が終了したことをもって、現場における全ての作業が完了いたしました。

これまで、地元の皆様からご理解とご協力を賜ったことに、改めて深く感謝申し上げます。

前号第8報でお知らせいたしましたとおり、現場から搬出した廃棄物の総量は、推定処理量11,200tを約11%上回る12,446tとなりました。このうち、汚泥の一部や木くず、コンクリート殻などの資源化に努めるとともに、資源化に適さないものは県外にある民間の管理型最終処分場に埋め立て、適正に処理いたしました。

また、9月に行った直近の騒音測定と水質検査の結果につきましては、別紙のとおり異常はありませんでした。

今後も、水質検査とその結果の公表を定期的に行いながら、引き続き地元の皆様の日常生活の安全・安心の確保に努めてまいります。

◎ 今回は、改めて写真で撤去作業の様子を振り返ります。

1 現場の移り変わり ➤ 大量に積み置かれた廃棄物が徐々に撤去され、現場は見違えるようになりました。



▲ 撤去前 (H29. 7. 29 撮影)



▲ 撤去中 (H29. 11. 1 撮影)



▲ 撤去中 (H30. 5. 31 撮影)



▲ 撤去完了 (H30. 8. 18 撮影)



▲ 盛土・成形作業完了 (H30. 9. 26 撮影)

2 撤去作業の内容 ➤ 掘削・選別・運搬などの各作業工程を迅速かつ丁寧に進め、廃棄物の適正処理を行いました。



▲①掘削…長年積み置かれた種類の異なる廃棄物を手際よく掘り起す。



▲②選別…回転式とグローブ型の重機の連携により作業効率を上げる。



▲③積み込み…資源化可能な廃棄物は、まとめて中間処理施設へ搬入。



▲④運搬…延べ1,349台の車両を使い、遠くは富山市へ廃棄物を運び出す。



▲⑤搬入…糸魚川市の工場へ1,008tを搬入し、セメントに再資源化。



▲⑥埋立て…廃棄物の大半は、富山市の最終処分場に埋立て適正に処分。



▲⑦成形…谷側の斜面を削り、安定勾配を確保し、土砂の崩落を防ぐ。

3 現地視察会などを開催 ➤ 作業内容を公開し、地元の皆様から作業の様子を確かめていただきながら進めました。



▲ 第1回現地視察会 (H29. 11. 18 18人参加)  
肌寒い天候の中、現場で行われている掘削・選別作業をご覧いただき、資源物として選別した木くずなどの状態をご確認いただきました。



▲ 第2回現地視察会 (H30. 7. 14 16人参加)  
廃棄物撤去の現場の様子をご覧いただき、急峻な掘削跡の崩落の危険性がないかなど、現場の今後の保全について質問がありました。



▲ 地元3町内会長による現地視察 (H30. 8. 18、9. 21)  
廃棄物の全量撤去作業と盛土・成形作業の完了時点で、各作業の状態をご確認いただき、「見違えるようになった」などの声が寄せられました。

【問い合わせ先】 何かお気づきの点や不明な点等がありましたら、以下の部署へお問い合わせください。

① 三和区総合事務所 市民生活・福祉グループ 電話 025-532-2323

② 生活環境課 施設整備係 電話 025-520-2088